広報 ひろば
たいせつ
8月号
2023 vol.246
http://www.jataisetu.or.jp/

田んぼアート 2023
生育が順調に進み田んぼアートが見頃を迎えております
「マツコ・デラックスさんとあさっぴー・あったかすくんのコラボ」

もくじ

たいせつなここがポイント ―― 02 ～ 06
田んぼアート 2023 ―― 07
たいせつHOTニュース ―― 08 ～ 13
理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ ―― 14
お盆営業のご案内

たいせつ

ポイント

営農部　農産販売課

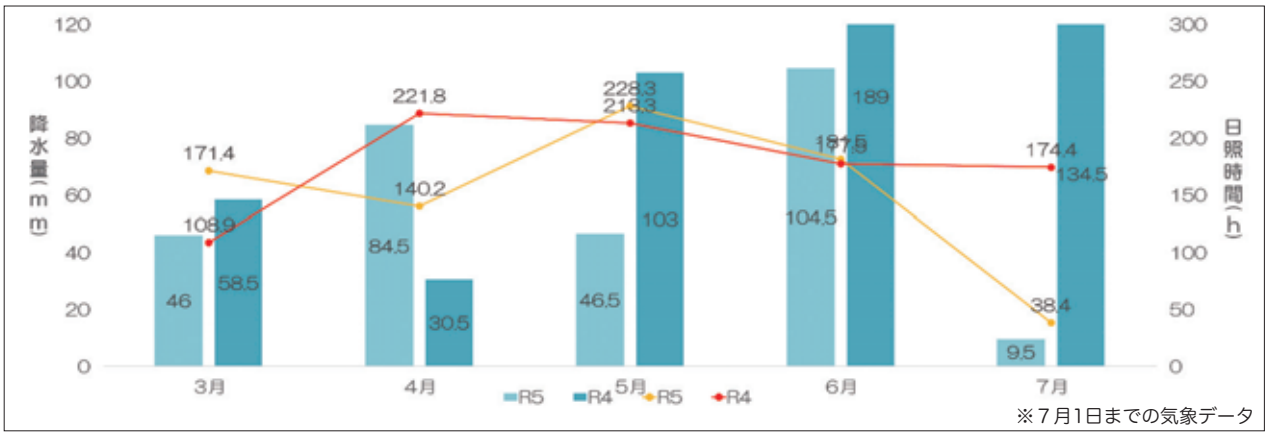
水稲編

◆本年の生育状況について

今年は、㎡茎数がやや多く生育が２日程度早く推移しています。（７／５時点）

今後は登熟期に向けて大事な時期となるため、天候に注意しつつ稲の生育状況に応じた適切な水管理と病害虫防除を行い、良品質米の生産に努めましょう。

◆仕上げの水管理と収穫適期の確認



※７月1日までの気象データ

図１　３月～７月までの降水量（㎜）と日照時間（h）

① 登熟期の水管理

登熟期間に土壌水分が少なく、干ばつになると粒張り不良となり収量低下の原因となるばかりでなく、乳白・心白米による品質の低下も招きますので、土壌状態に応じた落水とその後の走水によって、水田に写真１の様な亀裂が生じないようにしましょう。

≪間断灌漑の実施≫

出穂期以降は入水時の水深を４～５㎝とし、その後水田内の水がなくなるまで入水せずに１～２日間落水状態で管理し再び入水します。このような管理を落水時期まで繰り返し行うことで、根に酸素が供給され根の活力が維持されます。

≪落水時期の目安≫

落水は出穂後25日前後を目安としてください。透水性不良で乾きにくいほ場では出穂期での落水も可能ですが、その場合は**土壌の乾燥状態を見て走り水管理ができるように溝切りが実施されている必要**があります。

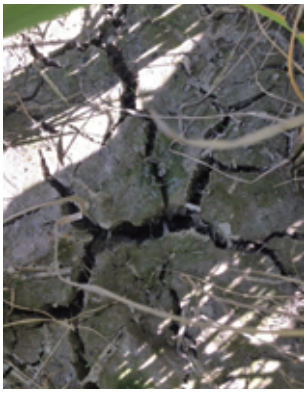


写真１　亀裂の入り過ぎたほ場

② 収穫適期の確認

≪籾の色による判断≫

近年続いている不安定な天候の影響により、積算温度のみでの収穫適期の判断が難しくなっています。登熟期に籾が黄色くなる現象『黄化』を利用して収穫適期を判断しましょう（図２参照）。黄化は晴れた日に２～３％程進むため、遅れ穂以外の籾で90～95%が黄化し完熟籾※となったタイミングが刈り取りの適期です。

※完熟籾の判断は籾の付け根にある護えいが黄色くなっていることで判断をしましょう。

写真２

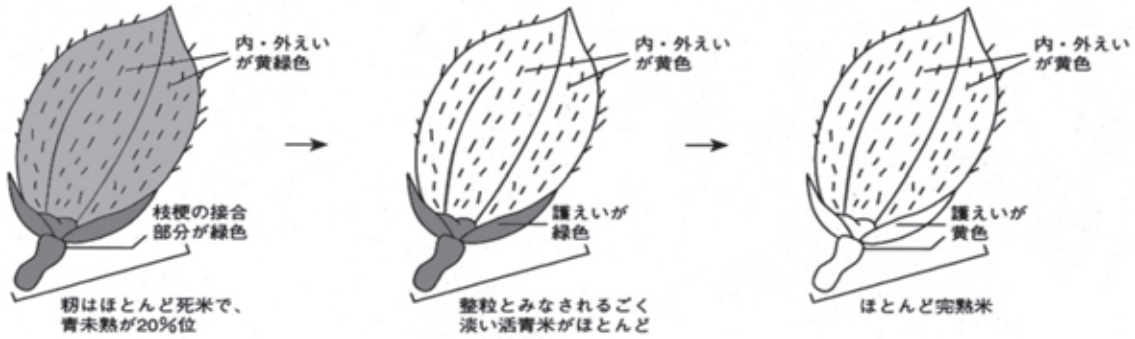


図２

≪玄米サンプルによる判定≫

整粒歩合80％以上を目標として収穫日を予測します。整粒60％以上の稲の場合、晴れの日で１日当り２％程度の青米が整粒になると判断します。ほ場の生育差が大きい場合には、１回だけの判定では困難なので再度玄米判定を行います。また、判定の結果刈取適期が１週間以上先の場合も再度玄米判定をして下さい。

⚠ 畦畔等への農薬散布は細心の注意を！⚠

除草作業の省力化のために畦畔や敷地周辺への除草剤散布が増えています。『作業に**慣れてる**から**大丈夫**』や『少しくらいかかっても**平気**だろう。』などの**油断**もドリフト（飛散）が発生する要因の１つです。もしも残留農薬が検出された場合は、調査料金や被害に応じた補償等が発生する場合もあるため、周辺に水田や畑、ハウスなどがある場合は風向きやハウスの開閉状況などを十分に配慮してドリフトを未然に防ぎましょう。

畑作編

① 大豆

（１）害虫防除について

開花期も過ぎ、今後の大豆の主要害虫である「マメシンクイガ」の防除を実施しましょう(表１参照)。マメシンクイガは幼虫のときに大豆の子実に加害します。そのため、**莢伸長始め（およそ半数の株に２～３㎝に達した莢がついた時期）から６日目頃**が１回目の防除時期となり、その10日後に２回目の防除となります。

１回目の防除薬剤は合ピレ剤とし、２回目は有機リン系剤を使用して下さい。

プレバソンフロアブル５につきましては、合ピレ剤と同様に１回目の使用として下さい。

近年、アブラムシ類の発生により吸汁された葉が、べと病のような姿になるほ場が散見されます。大豆の葉裏等を見てアブラムシ類の発生している場合は、１回目に合ピレ剤か、有機リン系剤を使用してください。

表１　「マメシンクイガ」防除薬剤

	薬剤系	薬剤名	希釈倍率	10a 当薬量	使用時期／回数
１回目（莢伸長始めから７日目頃）	合ピレ剤	トレボン乳剤	1,000	100ml	収穫14日前／２回
	ジアミド系	プレバソン FL5	4,000	25ml	収穫７日前／２回
２回目（１回目防除から10日後）	有機リン系	エルサン乳剤	1,000	100ml	収穫７日前／２回
		トクチオン乳剤	1,000	100ml	収穫30日前／３回

※10a 当りの水量はすべて100ℓ

（２）収穫の準備をしましょう。

収穫作業の効率化と品質向上のため雑草の抜き取りをなるべく行いましょう。また、わい化病株が見受けられる場合も汚粒などにより品質低下の原因となりますので、写真のような症状を見つけた場合はすぐに抜き取りをお願い致します。

写真１　成虫と幼虫・被害粒
（提供：上川農業改良普及センター）

写真２　わい化病
株葉が縮緬状になり脈間が黄化し、生育後期には株全体が黄変しています。

青果編

青果共通チェックポイント！

□ハウス内の温度が急激に上昇すると葉焼け等が発生します。遮光資材の活用や、こまめな換気に努め作物の生育適温を確保しましょう。
□８月後半からは夜温が下がり始めるため、夜間はハウスを閉め切ることが多くなります。ハウス内の湿度が高まり病害が発生しやすくなるので、朝に十分換気しハウス内のモヤ抜きを励行しましょう。
□病害虫の発生盛期です。発生予察による適期防除に努めましょう。
□急な降雨を想定して、暗きょ等の排水路を確保しましょう。ハウスでは、浸透水や雨水の侵入に備え、ビニールの破損等を補修しておきましょう。
□作業中は熱中症に留意し、水分と塩分の補給を行いましょう。作業する方については体調管理に十分留意し、いつでも連絡ができるようにして下さい。

① きゅうり

（1）温度管理

	目標温度
日中温度	25～30℃
夜間温度	15～16℃

※30℃以上では、茎葉の老化や奇形果が増加しやすくなるため、換気にも留意する。

（2）生産管理

長期どり栽培では、収穫節数が進み成り疲れがみられる時期であるため、計画的な摘葉作業と不良果の早期摘果を行いましょう。また、生理障害果の発生を防止するため、早めの追肥や葉面散布を行い草勢の維持をしましょう。収穫は、株の負担を軽くするため、Mサイズ中心の収穫を行いましょう。

（3）病害虫対策

【褐斑病】
褐斑病の発生が拡大してくる時期です。褐斑病は病勢の進展が早く、発生後の対応が遅れると防除が困難なため、適切なかん水や摘芯・摘葉・整枝作業を行うことで草勢を維持するとともに、発病葉を発見した場合は速やかに除去・搬出し、薬剤散布を行うことでまん延を防ぐ。

【べと病】
多湿条件で発生し、草勢が衰えている場合に多発しやすくなります。積極的な換気を行い、ハウス内湿度を高めないようにする。
摘葉や追肥を遅れずに行い、適正な草勢を維持するようにする。
早めの防除が必要なので、ほ場をよく観察し、病斑を見つけたら葉を摘除し発病初期に防除を行う。

【ハダニ】
葉の裏に寄生し、吸汁により葉の表に白いかすり状の斑点が現れる。ハウス入り口周辺から発生することが多い。多発すると葉全体が黄変枯死し、防除も困難になるので、ほ場をよく観察し早めの発見と、早期防除でまん延を防ぐ。

【アブラムシ類】
ワタアブラムシはウリ類での増殖が早く、葉裏一面に群生するようになり、特に吸汁害によって茎葉が萎凋し、その排泄物によって葉や果実の汚染が発生する。寄生初期に防除を行う。また、アブラムシ類はキュウリモザイクウィルスを媒介し、きゅうりが感染すると葉に淡黄色の斑紋が緑色部と混在したモザイク症状（写

写真１　褐斑病

写真２　べと病

写真３　ハダニ

写真４　アブラムシ

真５）となり、生育が著しく停滞する。汁液伝染するため、発病株は抜き取り処分する。アブラムシ類の防除を行うとともに、伝染源となるほ場周辺の除草を行う。

写真５
ウイルスによる被害株

② 原料トマト

（１）温度管理

		目標温度
日中	晴天	25 ～ 28℃
	雨天	16℃以上
夜間温度		13℃以上

今後高温期に入ることから、高温時は遮光資材を活用するなどし、ハウス内温度の低下に努める。また、曇雨天時にはハウスを閉め切りにせず、換気を行い病害の発生を防ぐ。

（２）生産管理

開花から収穫までは 60 日以上かかるため、８月上旬が摘芯の時期になります。

【摘芯のポイント✔】

□最後の開花花房の、上２枚の葉を残して摘芯する。

□上段は日焼けしやすいので日陰にして日焼け防止にするとともに、生長点を確保するため、残した上２枚の葉のわき芽を１～２本伸ばす。

① 裂果防止

昼夜の温度差が大きい秋になると裂果の発生が多くなります。湿度や土壌水分の急な変化により、果実の内部から肥大しようとする圧力が固くなった果皮に加わり発生します。特に、早朝や夜間のトマトの果実品温が低い状況でかん水すると裂果が多くなります。

【対　策】

・乾燥条件で急激にかん水すると裂果しやすいので、土壌水分の急激な変化を避ける。

・かん水は日の出２～３時間後とし、早朝のかん水は裂果を増加させる可能性があるので行わない。最低気温の下がった朝は、特にかん水時間を遅らせる。

・草勢を維持し、葉による遮光を施し果実表皮の劣化を防ぐ。

写真６　裂果

② 高温期の遮光資材活用

高温期には、日焼果、尻腐果、裂果防止のため、遮光資材（遮光率 20 ～ 30%）を積極的に活用する。

写真７　日焼け果

③ 日焼け果

高温によるリコペン合成の抑制により発生するので、高温時に遮光資材を使用し、果実の温度上昇を防ぐ。

④ 尻腐れ果

高温時は土壌水分が不足しやすく、根からの石灰の吸収が不足するため尻腐症が発生する。

天候に合わせかん水量を増やすなどかん水管理に努める。また、発生が心配される場合は、予め葉面散布を行う。

例：パフォーム Ca　500 ～ 1,000 倍

５～ 10 日間隔で数回、開花花房とその周辺の葉に散布

特に５～６段開花時は発生しやすいので注意する。

写真８　尻腐れ果

⑤ ホウ素欠乏症

樹勢が強い状態で窒素が過剰に吸収される場合、拮抗作用によって、ホウ素の吸収が悪くなり発生する。また、カリ、カルシウムが多い土壌ではアルカリ性でホウ素欠乏症を生じしやすい。

発生が見られるほ場では、葉面散布を行う。

（例）ヨーヒ B5　500 ～ 600 倍

朝、夕の涼しい時間帯に、１週間から 10 日間隔で茎葉、緑の果実に散布する。

写真９　初期症状

写真 10　黒いシミとなる

（3）病害虫対策

【葉かび病】

原料トマト栽培では８月中旬以降発生が多くなります。

【対　策】

・気温 22 ～ 25℃の多湿条件下に長く遭遇すると発病しやすい。過かん水による高湿度を避けるとともに、換気を行い風通しを良くする。

・肥料切れさせないよう、適正な施肥・草勢管理を行う。

【オオタバコガ】

幼虫は葉、芽、花弁などを食害するが、老齢幼虫は果実を食害する。果実に頭部が入るくらいの穴を開けて内部を食害した後、付近の果実に移動し次々と食害する。

【対　策】

・摘芯や摘果した脇芽、花蕾、幼果には卵や若齢幼虫が付いていることがあるので、ハウス内に放置せず、ほ場害に持ち出し適正に処分する。

・植物体に食入後では薬剤散布の効果が出にくいので、早めの防除を行う。

写真 11　葉かび病

写真 12　オオタバコガ

③ なんばん・ししとう

（1）温度管理

	目標温度	湿度管理
日中温度	25 ～ 30℃	気温 20℃以上の時に湿度を 65％以下にしない。
夜間温度	20 ～ 23℃	高温乾燥時は通常の灌水の他に、通路かん水を実施し、ハウス内湿度を確保する。

（2）生産管理

着果数に応じてかん水量を増減する。根の吸水が活発で蒸発散作用も旺盛なので、少量多回数のかん水を行い、晴天時、高温時は特に注意する。

（3）病害虫対策

【アブラムシ】

モモアカアブラムシとワタアブラムシの２種類が主に発生し、モモアカアブラムシは、生長点付近や上位の新葉に、ワタアブラムシは下葉の葉裏に多く見られる。多発すると防除が難しくなる場合があるので、ほ場を観察し初発を見逃さずに薬剤防除を実施する。

写真 13　アブラムシ

④ さやいんげん

（1）温度管理

生育ステージ		開花まで	開花～収穫期
気温	日中	15 ～ 25℃	25℃以下
	夜間	15 ～ 20℃	
地温		15 ～ 23℃	

※ 30℃以上の高温条件では、不受精による落花や、受精不良によって莢の曲がりが多くなる。

（2）生産管理

開花期以降は水分要求量が増加する。根は乾燥過湿に弱いので、草勢の維持を意識し、土壌の水分を確認しながら、少量多回数のかん水を行う。

（3）病害虫対策

【灰色かび病・菌核病】

〇発生しやすい状況と対策

開花後の天候が日照不足で多湿の時に多発するので、曇雨天時でも、ハウスを閉め切らずに換気を行う。曇雨天が続くときは、発生に注意し予防防除を行う。

【アザミウマ類】

〇発生しやすい状況と対策

莢が火膨れ症状となり商品性が失われる。高温乾燥条件で発生が多くなり、周辺雑草（特に黄色や白の花が咲くもの）が多いと発生も多くなるので、ほ場周辺の除草に努める。

アザミウマ類は花の中にいるので、花の中をよく観察し、発生が多くなってきたら、薬剤による防除を行う。

写真 14　灰色かび病
左：初期症状　右：末期症状

写真 15　莢の火膨れ症状

田んぼアート 2023 特集

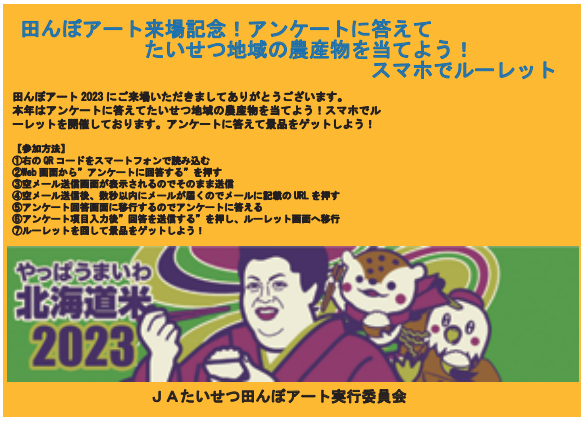
7月1日(土) 田んぼアート見晴台開放!!

田んぼアート特設会場に隣接しております、見晴台の一般開放を行いました。

高さ 8.5m の見晴台からは、田んぼアートと田園風景、晴れている日は大雪山連峰を一望できます。

また、見晴台の１階部分にはたいせつ農産物直売所田んぼアート支店を併設しており、たいせつ地域の新鮮な農産物や加工品をお楽しみいただけます。

なお、見晴台屋上では、スマートフォンで出来る QR コードを用いた、たいせつ地域の特産品が抽選で当たる簡単なアンケートを実施しております。見晴台にて右の看板を見つけたら、是非お試しください。



7月8日(土) 直売所田んぼアート支店 OPEN ！

見頃を迎えた田んぼアート併設のたいせつ農産物直売所田んぼアート支店が今シーズンの営業を開始しました。真夏日予報の晴れの中、広告や SNS のお知らせを見た観光客が次々と切れ目なく訪れ、見晴台からの景色を楽しみ、土日限定無料配布の牛乳を手に新鮮野菜や加工品を購入し、野菜は本店からの補充に大忙しでした。また、隣で出店する手芸グループ「紬」では、訪れた外国人が興味津々にハンドメイドバッグを購入されて行きました。

—2023 田んぼアートフェスティバル開催決定!!—

本年の田んぼアートも、生育が順調に進み見頃を迎えております。

また、今年は４年ぶりに田んぼアートフェスティバルが開催され、地元農産物の販売や青年部・女性部による飲食店ブースも出店します。

ステージイベント、吹奏楽の演奏、ものまね芸人ショーなど楽しんで頂けるイベントとなっています。

なお、一夜限りの田んぼアートのライトアップやフィナーレとして、花火の打ち上げもありますので、ぜひ足を運んでみて下さい。

開催日時：令和５年８月 19 日（土） 12：00 会場　13：00 開会
場　　所：田んぼアート会場 （旭川市東鷹栖７線 18 号）
主な出店：お米・野菜の販売、麺類・ご飯もの、アルコール含む飲料など
【ステージイベント】
13：00～　吹奏楽による演奏（鷹栖中・旭川農高）
13：40～　「はかいく」の鏡割り及び振る舞い酒
14：00～　吹奏楽による演奏（たかす吹奏楽団）
14：30～　ヒップホップダンス（ACE・ブラウセルン）
16：00～　もちまき
16：30～　ものまねショー（さちまる・太田圭亮）
18：30～　よさこいパフォーマンス（大雪風神会・すさび）
19：00～　太鼓パフォーマンス（神楽岡太鼓保存会）
19：30～　花火打ち上げ

旭川市東鷹栖農村活性化センター野土花の門柱がきれいになりました

かねてより劣化が酷く地域の方々から修繕を要望されていた野土花の門柱（旧小学校門）ですが、旭川市の財産の為、指定管理を受けている当ＪＡから要望を毎年上げていましたが、市では予算計上が難しいとのことから、本年ＪＡでの修繕を判断し、６月上旬に工事を実施してきれいによみがえりました。色も明るくなり道路からも目立つようになりました。

6月20日（火）　米国農務省・駐日米国大使館の北海道農業視察受入

この度北海道内上川と十勝地域の米、小麦生産並びに飼料製造に関する現地視察を希望する駐日米国大使館がホクレンを通じて当組合の稲作生産現場視察を熱望され、「稲穂の里」協議会の髙橋雄二会長宅（鷹栖地区北成）と、松田直人副会長宅（鷹栖地区瑞穂）を訪れました。

視察者は、米国農務省からダス・ミタ氏（国際市場分析部　国際生産評価課　上席分析官　技術班長）、エリック・ゲロウ氏（同部　粗粒穀物分析官）の２名、駐日米国大使館からジーク・スピアーズ氏（農務部　農務官）、通訳とホクレン２名の計６名でした。

それぞれの経営規模や生産物の作付構成などを紹介し、ほ場や施設・農機も見学されました。

「現在の稲作経営者で何代目か」「飛び地はどのくらい離れているのか」「今年の田植えは平年と比べてどうか」「天候の影響で成長が取り戻せるのはいつまでか」「肥料や燃料を含む生産コストは収益の何割か」「販売や清算の方法は」「収量は」「作付面積の増減はどうか、また今後は増やす予定か」など切れ目なく質問攻めにあい、大規模な農地に飛行機で空から種をまき、大型コンバインで収穫するアメリカとは大きく違う北海道の稲作に興味深々であることが伺え、この日は上川ライスターミナルや上川農試も視察する予定でしたが、かなり時間がずれ込むほどの熱心な視察でした。

HOT NEWS

6月24日（土）　イオン札幌苗穂店で「ＪＡたいせつ米」のおいしさ伝える！

ＪＡたいせつ「稲穂の里」協議会では、イオン札幌苗穂店において、「ＪＡたいせつ米」の販売促進活動を行いました。

イオン北海道では、2007年より「ＪＡたいせつ米」をお取扱い頂いており、生産者の顔が見える商品として定期的に販売促進を行ってきましたが、ここ３年間はコロナ禍により販売促進活動が制限されておりました。

コロナの５類移行により徐々に販促活動が解禁され、今回、道内のイオン店舗でも「たいせつ米」の販売数量が上位の実績である「イオン札幌苗穂店」からオファーがあり、「稲穂の里」協議会三役により実施しました。

販促を通じて、生産者と消費者の交流、また、７月から見頃を迎える「田んぼアート」の PR を兼ね、来店者に田んぼアートチラシやポケットティッシュを手渡し、日頃から「ＪＡたいせつ米」を購入頂いているお客様からは、非常に高い評価のお言葉を頂きました。通常セールや販促を実施した際は、１日50袋～ 60袋の販売数が平均のところ、本販促では111袋の販売実績と大成功の結果となり、また「田んぼアート」の認知度の高さも伺え、大変有意義な販促活動となりました。

6月27日（火）　水稲青空教室開催

東鷹栖40区大田和樹氏ほ場にて、今年の稲の生育状況、幼穂形成期以降の水管理、「空育195号」の特徴をテーマに水稲青空教室が開催されました。講師の上川農業改良普及センター渡部係長から実際に稲の様子を観察しながら説明を受ける中、積極的な質疑応答が交わされ、また、生産者同士で情報交換する様子も見受けられました。大変暑い中ではありましたがＪＡたいせつ玄米入緑茶を飲み、熱中症対策を講じて開催された青空教室は大変有意義な講習となりました。

今後も関係機関と連携し現地調査や広報活動等を実施して参ります。なにかお困り事やご相談等が御座いましたら下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ先

本所営農センター　農産販売課　（５７－２３５７）
支所営農センター　営農施設課　（８７－４１１１）

6月23日（金）　令和５年度たいせつ農協東鷹栖年金友の会春季パークゴルフ大会開催

　たいせつ農協東鷹栖年金友の会春季パークゴルフ大会を、鷹栖町丸山パークゴルフ場にて20名の参加により開催しました。
　当日は好天に恵まれ春らしい気温と風を感じられるパークゴルフ日和となりました。
　会員の皆様は競技が始まると日頃の練習の成果を発揮され、真剣な表情でボールを打ち歓声を上げ楽しまれている姿も見られ、１名の方がホールインワンを出すなど素晴らしいショットも多くあり、36ホールの熱戦が繰り広げられました。
　参加者の皆様大変お疲れさまでした。
　８月には両地区合同企画でのパークゴルフ大会も予定しておりますので多数の参加をお待ちしております。

　大会の結果は次のとおりです。（ハンデを含んだ点数となっております）

男性の部
　優　勝　　山崎　　怜さん（スコア102）
　準優勝　　原　　隆幸さん（スコア104）
　３　位　　山田　国治さん（スコア105）

女性の部
　優　勝　　大坪南海子さん（スコア108）
　準優勝　　木下　幸子さん（スコア110）
　３　位　　稲場　暘子さん（スコア116）

6月26日（月）　令和５年度たいせつ農協東鷹栖年金友の会春季ゲートボール大会

　たいせつ農協東鷹栖年金友の会春季ゲートボール大会が13名の参加者で３チームに分かれ開催されました。
　当日は快晴の下、気温も大変高い中、スタートの合図とともに試合が開始され各チームの皆様は緊張した面持ちで試合を楽しんでおりました。試合については毎週木曜日に練習会を行っている成果を発揮し、素晴らしいプレーが出るなど大変白熱した試合展開となりました。今回も前回同様、３チームの為、試合・審判と皆さん休む暇も無くとても大変でしたが、楽しみながら懇親を深める事が出来た大会となりました。
　秋の大会も計画して参りますので、多くの参加をお待ちしております。参加された皆さんお疲れ様でした。

優勝　石田　亨さんチーム
　石田　亨さん　上田　智さん　山田　冷子さん　野寺　久雄さん

6月28日（水）　忌避装置「モンスターウルフ」導入

　毎年増えている、シカの食害や熊の出没を防ぐため、新たに東鷹栖中山間事業の鳥獣被害対策として、忌避装置「モンスターウルフ」を試験導入しました。
　設置にあたっては、特に目撃情報が多い山際３箇所に絞って聞き取りを行い、管理して頂く周辺農家さん立ち合いの元、設置を行いました。
　「モンスターウルフ」は道内の中山間事業や市町村でも鳥獣被害対策として、導入実績があり、テレビや新聞などにも取り上げられるほど注目も浴びている忌避装置で、当地区でも年々増えている被害を食い止め、安心して生産活動を行えるよう効果を期待したいと思います。

HOT NEWS

6月30日（金）　令和５年度新規就農者激励会

　ＪＡたいせつ本所事務所において「令和５年度ＪＡたいせつ新規就農者激励会」が開催されました。昨年度新規就農された方に激励状および記念品、目録の贈呈が行われました。
　本事業は、ＪＡ北海道中央会より北海道の農業・農村を担う一員として、新規就農者が英知と努力をもって農業に取組むことを期待し、激励状と記念品を贈呈されました。相澤代表理事組合長より新規就農者へＪＡグループ北海道からの激励状が読み上げられたのちＪＡ北海道中央会からの記念品が贈呈され、ＪＡたいせつから目録として農業新聞購読１年分などが外川代表理事専務より贈呈されました。
　また、相澤代表理事組合長より新規就農者の方々へ激励のお言葉を頂戴し、その後新規就農者の方々に今後の抱負を述べていただき、参加した役職員よりこれからの期待をこめて熱い拍手が送られ閉会しました。尚、今回激励状が贈呈された方は下記の５名の方です。

（激励状を持っている左より）
秋山　英士さん（鷹栖 北成 経営主：ご本人）　　宮本　千穂さん（鷹栖 16区 経営主：宮本　良明さん）
宮本　良明さん（鷹栖 16区 経営主：ご本人）　　長野こずえさん（東鷹栖 鷹の巣 経営主：ご本人）
霜野　滉多さん（東鷹栖 25区 経営主：霜野　光則さん）

6月30日（金）　ＪＡたいせつ青年部東鷹栖支部 廃ビニール回収作業

　東鷹栖中山間の共同取組活動として、農業用廃ビニール・空袋回収作業が行われました。
　毎年行う廃ビニール・空袋回収作業は、東鷹栖青年部の支部活動の一環としてご協力頂き、今回は青年部員35名の参加となり、作業はスムーズに進み、農業用ビニールや肥料袋、育苗箱などを回収し処理業者に引き渡しを行いました。
　受入件数は130件で重量は約52トンとなりました。
　参加いただきました青年部員の皆様、ありがとうございました。
　次回の農業用廃ビニール・空袋回収作業は11月を予定しています。

6月30日（金）　令和５年度生乳計画生産に係る説明会開催

　生乳の業務用や学校給食用の需要が低迷し、「大量廃棄の危機」が生じたため、乳業メーカーでは保存のきくバターや脱脂粉乳の製造で回避を目指し、関係機関でも消費拡大活動の強化を図り、更に昨年は酪農家による生乳出荷の抑制に取り組み、処理不可乳の発生は回避できました。コロナ制限の緩和となっても、依然飲用向生乳の需要低下が続いていることから、今年度も生産目標数量を設定し計画生産するため酪農家参加による説明会を開催して共有を図りました。組合員の皆様も牛乳・乳製品の消費に絶大なるご協力をお願いします！

7月7日(金)～8日(土)　ＪＡたいせつ青年部一泊視察研修

ＪＡたいせつ青年部の帯広方面の１泊研修を部員22名と事務局１名の合計23名により開催しました。

１日目は、芽室町の宇野ファームさんへ訪問し、経営規模や芽室町の農業についてお話頂き、畑作などの圃場見学も行いました。芽室町の農業は、畑作と野菜が盛んな畑作地帯で、単収を上げるための工夫や除草を徹底しているため、整備された圃場はとても勉強になり、青年部の方々もとても感銘を受けていました。また、その日夜には、同じく帯広へ視察研修に来ていたＪＡひがしかわ青年部とＪＡめむろ青年部との交流会に参加し、地域を跨いだ青年部部員の親睦が図れました。

２日目には、４年ぶりの開催となった国際機械展示会を訪れ、広い会場内には大型機械の展示や省力化を目指した最新の機械の展示があり、青年部と共に一戸当たりの面積が増加する近い将来を想像しながら、各ブースの展示を真剣に見て回り、とても貴重な体験となりました。

7月7日(金)　原料トマト出荷開始

トマトジュース「オオカミの桃」の原料となるトマトの出荷が開始となりました。初日となる７月７日のたいせつ地区の出荷件数は、４件で約300kgの出荷となったものの、日に日に出荷件数が増えており、12日には12件の出荷があり重量も約３トンと例年並みの出荷量となりました。生産者の方々が朝収穫された新鮮な完熟トマトは、その日の内に瓶詰され、果汁100％のトマトジュース「オオカミの桃」が完成します。例年８月上旬より販売予定となりますので、スーパー等で見かけましたら是非一度ご購入いただき、生産者の皆様が手塩にかけて育てたトマトから作られる令和５年産トマトジュース「オオカミの桃」をご賞味ください。

7月10日(月)　ケイ酸入り肥料ドローンデモ散布の開催

株式会社下野ファームさんの圃場にて、空散用ケイ酸入り肥料（アドシリカ）のドローンデモ散布を行いました。

幼穂形成期の追肥により有効茎数など収量構成要素の改善による増収効果を検証すべく、試験圃場と慣行圃場を設置しました。今後、追肥したことによりどのような変化が見受けられるのかを考察し、正確な情報をお届けできるよう取り組んでいきます。

HOT NEWS

ＪＡたいせつ「会っちゃお」訪問始動

第７次地域農業振興計画・ＪＡ中期経営計画において、組合員皆様との信頼関係の更なる強化に向けて掲げました、たいせつ「会っちゃお」訪問ですが、第１弾として、情報発信ツール「ＪＡコネクト」の登録と説明、各窓口のご案内をテーマに訪問しました。

訪問先で頂きました、ご意見やご要望は各担当部署に取次ぎ、改善に繋げていきます。今後も定期的に実施しますので、日頃の営農や生活で抱えている課題や当ＪＡへのご意見・ご要望等お気軽に相談頂ければと思います。お忙しい中、ご対応頂きありがとうございました。

7月10日(月)　ライスセンター操業「安全大会」開催

令和５年度ライスセンター操業安全大会が開催されました。はじめに、相澤組合長より開会のご挨拶をいただき、自分・相手・商品に対する安全作業の徹底、『慣れ』による事故防止等のお話がありました。研修では安全管理者である澤田参事より、安全操業や熱中症予防の講習を受け、これから操業する上での注意事項等を関係者全員で確認しました。

最後に、外川専務より閉会のご挨拶いただき、相手を気遣いながら働きやすい環境整備に向け、従業員の方々からも何かあれば、ご意見を頂きたい旨のお話がありました。

７月中下旬より麦の受入れが始まり、９月上旬からは米の受入れが始まります。怪我や事故等が無い様に気をつけながら、令和５年度の操業を無事終えれるよう一人ひとりが注意して作業を行ってまいります。

7月11日(火)　無人ヘリ安全運航講習会の開催

７月11日、「無人ヘリ安全運航講習会」が開催されました。開催にあたり、無人ヘリ防除運航協議会の伊藤会長から開会のご挨拶をいただき、相澤組合長より来賓ご挨拶をいただきました。

その後、鷹栖神社より神主にお越しいただき、安全祈願を行いました。

安全講習会では北日本スカイテック㈱より小田原様を講師に招き、無人ヘリ運航に関する操作の再確認と新たに導入した無人ヘリ機体の障害物検知機能の説明、飛行日誌の記載方法、及びコミュニケーションの徹底等による事故防止などの講習がありました。

７月中旬より防除作業が始まり、８月中旬終了予定ですが、怪我や事故等がないよう十分気をつけて作業を行ってまいります。

おしゃべりスズメ カーロ君の Ine(稲)stagram

１年に渡って、たいせつ地域の営農の様子をお届けする Ine(稲)stagram
第４回となる今回は、無人ヘリによる本田防除中の東鷹栖23区農事組合 松本 良介さんにお話をお聞きしました。

○今年の営農で苦労したところ
今年も稲の生育が順調に進み喜ばしいところですが、毎年参加している無人ヘリ防除の出役も早まり、家の仕事との両立に追われています。
しかし、地域の大事なお米を守るため丁寧な防除を心掛けていきます。

○今年の営農の抱負
今年、経営移譲したので今まで以上に圃場管理に気を配り、経営についても学んでいきたいと思います。

理事会からのご報告

令和五年六月三十日　第四回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、令和五年度第1四半期自治監査結果について

六月五日から六日まで実施された自治監査について、総評、事務整備状況の確認、事務改善事項・事務整備事項について報告され承認決定されました。

二、組合員の出資持分譲渡ならびに減口の承認について

相続による持分譲渡四件、減口一件について原案通り承認決定されました。

三、定款五十七条三項による組合と理事の契約承認について

原案通り承認決定されました。

監事会からのご報告

令和五年六月三十日　第三回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、令和五年度第1四半期自治監査について

六月五日から六日まで実施された自治監査の講評について、原案通り理事会に報告する事が承認決定されました。

二、みのり監査法人からの質問に対する回答について

原案通り承認決定されました。

三、今後の日程について

原案通り承認決定されました。

四、その他について

コンプライアンス事故報告書について検討を行い、原案通り承認決定されました。

「たいせつ」のあゆみ

7月

7月3日　労働安全衛生委員会・企画会議
7月4日～7日　中央会内部監査期中Ⅰ（総務課）
7月5日　JAたいせつ無人ヘリ防除運航協議会役員会
7月7日　「会っちゃお」訪問　～14日
7月8日　青年部一泊研修　～8日
7月10日　直売所田んぼアート支店オープン
7月11日　ライスセンター操業「安全大会」
7月13日　みのり監査法人期中Ⅰ監査　～14日
7月14日　無人ヘリ安全運航講習会
7月20日　生産調整現地確認（鷹栖地区）
7月24日　肥料価格高騰対策申請受付　～24日
7月25日　東鷹栖年金友の会日帰り研修
7月28日　第3回田んぼアート実行委員会
7月31日　第4回監事会・第5回理事会
法律相談
鷹栖年金友の会日帰り研修
生産調整現地確認（東鷹栖地区）
女性部田んぼアート「ヒエ取り」作業
本支所資材店舗・メカニックセンター・SS中間棚卸

退職のご挨拶

総務部　辻　勝吉

盛夏の候、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私こと、この度7月31日を持ちまして、たいせつ農業協同組合を退職いたしました。

顧みますと、昭和57年4月、旧東鷹栖農業協同組合に奉職以来、41年余りの永きに亘り勤められたことは、皆様からのご指導、ご鞭撻のおかげと心より厚くお礼申し上げます。

これからは、皆様から頂きました教訓を大切にしながら、新たな人生を歩んで参りたいと考えておりますので、今後ともご厚情の程お願い申し上げます。

末筆となりますが、組合員皆様のご多幸とご健勝、たいせつ農業協同組合の益々の発展をご祈念申し上げ、退職のお礼にかえさせて頂きます。

長い間お世話になり誠にありがとうございました。

お盆営業のご案内　2023

			8月11日(金)	8月12日(土)	8月13日(日)	8月14日(月)	8月15日(火)	8月16日(水)	8月17日(木)
東鷹栖セルフ給油所		平常営業 7:00～21:00	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業
鷹栖セルフ給油所		平常営業 7:00～20:00						
貯金店舗	本所窓口	休業	休業	休業	平常営業	平常営業	平常営業	平常営業
貯金店舗	支所窓口		9:00～12:00					
ATM	本所							
ATM	支所							
本所・支所事務所		休業	8:30～12:00	休業	平常営業	休業	休業	平常営業
本所・支所営農センター								
メカニックセンター			8:30～17:00					
直売所	東鷹栖本店	平常営業 10:00～18:00	平常営業	平常営業	休業	平常営業	平常営業	平常営業
直売所	田んぼアート支店	平常営業 10:00～15:00	平常営業	平常営業	休業	平常営業	平常営業	平常営業

※休日の自動車事故連絡はＪＡ共済事故受付センター（0120-258-931）
レッカー移動や応急対応の場合は（0120-063-931）

※ご不幸の場合は緊急連絡先（080-1882-3423）までお願いします。

ＪＡたいせつ

コイン精米機 お盆休業のご案内

日頃より当ＪＡコイン精米機をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

お盆期間中の休業日が下記の通りとなりますのでお知らせ致します。

8月10日（木）～8月18日（金）

※本所・鷹栖支所営農センター前設置コイン精米機

空きパレット返却のお願い

肥料早取り作業を円滑に行うため、皆様のお宅に空きパレットがありましたら、お忙しいところすみませんがご返却の程よろしくお願い致します。

お問い合わせは
本所生産資材係　57-2357
支所生産資材係　87-4111

ＪＡたいせつ広報誌　ひろばたいせつ
2023/8月号　第246号
発行　たいせつ農業協同組合
〒071-8101　旭川市東鷹栖1条3丁目635-58
TEL0166-57-2311
印刷　㈱総北海